

令和3年三重県議会定例会  
予算決算常任委員会 総務地域連携デジタル社会推進分科会説明資料  
目次

◎所管事項

- 1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく報告  
について . . . . . 1

令和3年10月22日  
地域連携部

1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく報告について

第2-2号様式(条例第6条第1項関係)

交付決定実績調書(5億円以上)

(部局名:地域連携部) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者の氏名及び住所	交付決定額	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	実現しようとする政策、施策及び目標	補助金等の交付以外の方法の可能性	課(室)名	備考
2 (2-16)	地域間幹線系統確保維持費補助金 (令和2年度)	三重交通株式会社 津市中央1番1号	502,230	複数市町をまたぐ地域間の幹線バスについて、市町、事業者、県民等が参画する県協議会で協議のうえ、国と協調して補助する。	(目的・理由) 地域の生活交通としてのバス路線を確保・維持する。  (根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱	(政策)安心と活力を生み出す基盤 (施策)安心を支え未来につなげる公共交通の充実 (目標)生活交通の維持・確保	地域間の幹線バス路線を確保・維持していくためには、国の補助制度を活用することが効果的である。	交通政策課	
3 (3-17)	三重とこわか国体会場地市町運営交付金 (令和3年度)	津市 津市北河路町19番地1	555,855	三重とこわか国体(第76回国民体育大会)の競技会場地となる市町等が実施する競技会等の運営に要する経費について支援を行う。	(目的・理由) 三重とこわか国体(第76回国民体育大会)における市町の財政負担の軽減と円滑な運営を図る。  (根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱	(政策)三重とこわか国体・三重とこわか大会の成功とレガシーを生かしたスポーツの推進 (施策)競技スポーツの推進 (目標)三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催	三重とこわか国体における市町等の財政負担の軽減と円滑な運営を図るために、市町等が実施する競技会等の運営に要する経費に対し支援するものであり、交付金の交付が最も適切な方法である。	総務企画課	
4 (3-36)	三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会負担金 (令和3年度)	三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会 津市広明町13番地	3,906,671	三重とこわか国体及び三重とこわか大会の開催準備に要する経費を負担する。	(目的・理由) 三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会の事業経費を負担することにより、三重とこわか国体及び三重とこわか大会の開催準備を円滑に推進する。  (根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱	(政策)三重とこわか国体・三重とこわか大会の成功とレガシーを生かしたスポーツの推進 (施策)競技スポーツの推進 (目標)三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催	三重とこわか国体・三重とこわか大会を開催するために必要な事業を行うことを目的に、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会を設置しているため、負担金の交付が最も適切な方法である。	総務企画課 競技・式典課 運営調整課 全国障害者スポーツ大会課	

## 補助金等の交付実績

(部局名:地域連携部)(単位:千円)

番号	事務事業名	補助金等の名称	補助事業者等の氏名	交付額	交付の根拠	課(室)名	備考
1	地籍調査費負担金	地籍調査費負担金	津市	31,428	地域連携部関係補助金等 交付要綱	水資源・地域 プロジェクト課	R1繰越
2	同上	同上	同上	68,142	同上	同上	
3	同上	同上	伊勢市	12,864	同上	同上	
4	同上	同上	御浜町	16,980	同上	同上	
5	同上	同上	鳥羽市	16,287	同上	同上	
6	同上	同上	南伊勢町	11,250	同上	同上	
7	同上	同上	紀宝町	11,214	同上	同上	
8	同上	同上	亀山市	12,153	同上	同上	
9	地方バス路線維持確保 事業費	地域間幹線系統確保維持 費補助金	三重交通株式会社	502,230	同上	交通政策課	
10	鉄道利便性・安全性確 保等対策事業費	鉄道軌道安全輸送設備等 整備事業費補助金	三岐鉄道株式会社	29,125	同上	同上	
11	同上	同上	四日市市	28,767	同上	同上	
12	同上	同上	伊賀市	20,396	同上	同上	
13	伊勢鉄道基盤強化等 対策事業費	鉄道軌道安全輸送設備等 整備事業費補助金	伊勢鉄道株式会社	43,285	同上	同上	

## 補助金等の交付実績

(部局名:地域連携部)(単位:千円)

番号	事務事業名	補助金等の名称	補助事業者等の氏名	交付額	交付の根拠	課(室)名	備考
14	新型コロナウイルス感染症に対する交通事業者支援事業費	三重県交通事業者感染症対策費用等補助金	三重交通株式会社	67,018	地域連携部関係補助金等交付要綱	交通政策課	
15	同上	三重県交通事業者感染症対策費用等補助金	三岐鉄道株式会社	24,809	同上	同上	
16	三重とこわか国体・三重とこわか大会開催準備事業費	三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会負担金	三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会	301,396	同上	総務企画課 競技・式典課 運営調整課 全国障害者スポーツ大会課	
17	同上	第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金	三重とこわか国体・三重とこわか大会鈴鹿市実行委員会	135,067	同上	運営調整課	
18	同上	同上	三重とこわか国体・三重とこわか大会多気町・松阪市実行委員会	18,301	同上	同上	
19	同上	同上	伊賀市	17,240	同上	同上	
20	地域スポーツ推進事業費	スポーツ団体等活性化補助金	公益財団法人三重県スポーツ協会	17,975	同上	スポーツ推進課	
21	同上	同上	一般財団法人三重県武道振興会	10,546	同上	同上	
22	競技力向上対策事業費	三重県競技力向上対策本部負担金	三重県競技力向上対策本部	353,724	同上	競技力向上対策課	
23	離島航路支援事業費	離島航路整備事業補助金	鳥羽市	32,415	同上	南部地域活性化推進課	

補助金等評価結果調書

(部局名:地域連携部) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	当初交付決定額	交付実績額	評価結果	課(室)名	備考
3-2	地域間幹線系統確保維持費補助金 (令和2年度)	三重交通株式会社 津市中央1番1号	-	502,230	<p>(根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱 (公益性) 国と地方公共団体が、住民の生活に必要な地域間幹線系統をシビルミニマムとして維持するという理由により公益性を有する。 (必要性) 事業者だけでは維持が困難な地域間幹線系統の運行に対し、国と県が補助金を交付し維持を図ることは、住民のシビルミニマムとしての移動手段を確保するために必要である。 (効果) 事業者から補助申請された全路線へ補助を実施することにより、地域間幹線系統を維持することができた。しかしながら、交付額が補助要綱に基づいて算定した補助額に満たないため、事業者の負担が増えており、今後、路線の維持が困難となる可能性がある。 (交付基準等の妥当性) 県と市町の役割分担として、地域間幹線系統を維持するために補助することは必要である。</p>	交通政策課	

補助金等評価結果調書

(部局名:地域連携部) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	当初交付決定額	交付実績額	評価結果	課(室)名	備考
2-3	三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会負担金(令和2年度)	三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会 津市広明町13番地	554,747	301,396	<p>(根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱 (公益性) 国体は、県民の健康増進を図り、地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものであることから、公益性を有する。 (必要性) 三重県実行委員会総会等の開催や会場市町と連携しながら、式典内容の検討、競技施設整備、輸送・交通対策、宿泊施設の確保など、円滑な運営に向けた準備を進めるため。 (効果) 令和3年度開催の第76回国民体育大会の開催準備が進むとともに、国体の開催を契機に、本県のスポーツ推進が図られる。 (交付基準等の妥当性) 令和3年度開催の第76回国民体育大会の開催に向けて、実行委員会総会等を開催するとともに、競技役員の養成、県民への周知など、開催準備を推進するには妥当である。</p>	総務企画課 競技・式典課 運営調整課 全国障害者スポーツ大会課	

補助金等評価結果調書

(部局名:地域連携部) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	当初交付決定額	交付実績額	評価結果	課(室)名	備考
2-4	第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金 (令和2年度)	三重とこわか国体・三重とこわか大会鈴鹿市実行委員会 鈴鹿市神戸1丁目18番18号	132,389	135,067	(根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱 (公益性) 国体は、県民の健康増進を図り、地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものであることから、公益性を有する。 (必要性) 第76回国民体育大会の競技会場となる施設の整備促進を図り、大会の円滑な運営に資するため。 (効果) 第76回国民体育大会の競技会場となる施設の整備促進が図られた。 (交付基準等の妥当性) 市町等が行う競技施設の整備を進めるにあたり、「国体の競技施設として基準を満たすこと」、「参加者への危険防止対策」、「中央競技団体正規視察時の指摘への対応」を補助の対象として、必要最小限の観点から運用しているところであり、補助金の交付が最も適切で妥当である。	運営調整課	

補助金等評価結果調書

(部局名:地域連携部) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	当初交付決定額	交付実績額	評価結果	課(室)名	備考
3-1	第76回国民体育大会市町競技施設整備費補助金 (令和2年度)	伊賀市 伊賀市四十九町3184番地	101,090	17,240	<p>(根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱 (公益性) 国体は、県民の健康増進を図り、地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものであることから、公益性を有する。 (必要性) 第76回国民体育大会の競技会場となる施設の整備促進を図り、大会の円滑な運営に資するため。 (効果) 第76回国民体育大会の競技会場となる施設の整備促進が図られた。 (交付基準等の妥当性) 市町等が行う競技施設の整備を進めるにあたり、「国体の競技施設として基準を満たすこと」、「参加者への危険防止対策」、「中央競技団体正規視察時の指摘への対応」を補助の対象として、必要最小限の観点から運用しているところであり、補助金の交付が最も適切で妥当である。</p>	運営調整課	



補助金等評価結果調書

(部局名:地域連携部) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	当初交付決定額	交付実績額	評価結果	課(室)名	備考
2-6	三重県競技力向上 対策本部負担金 (令和2年度)	三重県競技力向上対 策本部 津市広明町13番地	248,836	353,724	<p>(根拠) 地域連携部関係補助金等交付要綱 (公益性) 令和3年の三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得を目標とすることとおして、本県の競技力向上に計画的・総合的に取り組むことを目的としており公益性を有する。 (必要性) 令和3年の三重とこわか国体で天皇杯・皇后杯を獲得すること及び大会終了後も安定した競技力を確保する必要がある。 (効果) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年の鹿児島国体やインターハイ等が開催されず、強化活動も制限されるなか、工夫しながら強化に取り組んだ。その結果、全日本選手権やインターハイの代替大会等での三重とこわか国体の出場予定選手の優勝や、第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会において、前年の3件を上回る8件の入賞を獲得するなどの成果があった。 (交付基準等の妥当性) 県の役割として、国民体育大会における天皇杯・皇后杯を獲得するため、競技力向上のための取組に係る負担金を補助することは妥当である。</p>	競技力向上 対策課	

## 補助金等の見直し状況

(部局名: 地域連携部)

番号	補助金等の名称	見直し結果等	見直しを行った理由	課(室)名	備考
1	高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業費補助金	新設	次世代モビリティ等を活用した取組及び交通分野、福祉分野等が連携した取組により、地域の実情に応じた持続可能な移動手段の確保を図るため新設した。	交通政策課	
2	交通事業者感染症対策費用等補助金	新設	新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止対策を支援することにより、県内交通の安定的な運行体制の確保や、県民が安心して県内交通を利用できる環境整備を図るため新設した。	同上	
3	交通事業者利用回帰対策費用補助金	新設	新型コロナウイルス感染症の拡大のため利用者が大幅に減少した公共交通の利用回帰に向け公共交通事業者が行う取組を支援することにより、県内交通の安定的な運行体制の確保を図るため新設した。	同上	
4	三重とこわか国体競技別リハーサル大会運営費補助金	新設	三重とこわか国体の円滑な開催準備、運営に資するため、市町等が開催する競技別リハーサル大会の運営に要する経費について補助を行うため新設した。	競技・式典課	
5	南部地域自然体験促進事業費補助金	新設	新型コロナウイルス感染症を契機として、南部地域における自然体験イベントを実施する事業者を支援するため新設した。	南部地域活性化推進課	

補助金等の見直し状況

(部局名: 地域連携部)

番号	補助金等の名称	見直し結果等	見直しを行った理由	課(室)名	備考
6	南部地域自然体験促進事業費補助金	廃止	南部地域の自然体験の利用が促進される効果を上げたことから廃止した。	南部地域活性化推進課	
7	南部地域体験教育旅行促進事業費補助金	新設	コロナ禍において、児童生徒たちにより安全な県内で学びや思い出作りの機会をつくること、県南部地域は多様で豊かな自然や歴史、文化を有しており、その魅力をより多くの県内の児童生徒に認識していただくこと、宿泊・観光業や土産物販売業など、新型コロナウイルス感染症により影響を大きく受けている地域経済の回復の一助とすることを目的として新設した。	同上	